

第72号議案

「原爆体験伝承漫才「希望の鐘」」の後援名義の使用について

上記の議案を提出する。

令和7年12月16日

提 出 者 文京区教育委員会

教 育 長 丹羽 恵玲奈

別記様式第1号(第6条関係)

文京区教育委員会 共催 **後援** 名義使用申請書

令和7年11月14日

文京区教育委員会 殿

申請者(申請団体) 語り継ぐ人たち

住所(所在地) 東京都文京区白山1-36-2-414

代表者名 (ふりがな) あだち ちあき
安達 千晶

代表者連絡先 (事務担当者) 同上

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催 **後援名義**を使用したく、申請します。

記

事業名	原爆体験伝承漫才「希望の鐘」		
共催又は後援名義等の使用を必要とする理由	文京区が推進する平和活動の一環として、戦争の悲惨さと平和の尊さを漫才という親しみやすい手法を通じて伝える文化的な機会となります。特に未来を担う区内児童・生徒と保護者に、笑いと語りを通して家族で歴史と向き合うきっかけを届けることができるため申請するもの。		
実施期間	2026年 3月 26日(木) (1 日間)		
実施場所	文京シビックセンター 小ホール		
事業内容	目的※	エンターテインメントを通じて区内の幼・小・中の児童・生徒へ、芸術・文化を幅広い世代に伝え、文京区の教育及び学術のさらなる向上普及発展に寄与することを目的とする。	
	内容	被爆二世の会長崎より依頼を受けて史実を基に制作した、原爆をテーマにした漫才を公演。終戦80年。若い世代。風化や繰り返しをしてはいけない事実を語り継ぎ、平和のありがたさや尊さを漫才と語りを通じて、ご来場者にわかりやすく伝えるもの。	
	対象者	主に区内小中学生及び保護者 (参加予定人員 225人 収支予算書ご参照)	
	参加費	大人1人3,000円/子ども(席が必要な子供・小・中) 500円 ※原則、乳幼児無料	
他団体の共催、後援等(申請中、承認済の別)	後援：文京区(2025文総総第1222号 令和7年11月6日承認) 協賛：四川家庭料理 中洞		
備考	先着20名子ども無料		
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに 同意する ・ 同意しない			

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

事業実施要綱

令和7年11月14日

文京区教育委員会 様

主催代表者名 語り継ぐ人たち 安達千晶

住 所 文京区白山1-36-2-414

- 1 事業名：原爆体験伝承漫才「希望の鐘」
- 2 主催者名：語り継ぐ人たち
- 3 実施日時：2026年3月26日（木）18:00開場、18:30開演
- 4 実施場所：文京シビックセンター 小ホール（東京都文京区春日1丁目16-21）
- 5 事業の目的：エンターテインメントを通じて文化・芸術を幅広い世代に伝え、文京区の文化振興に資することを目的とする。
- 6 事業の内容：音楽やお笑い、芝居などのエンターテインメントを通じて、重たく敬遠されがちな歴史をわかりやすく伝え、かつ、文化的な学習機会を広げることに
より、多様な学びで平和学習に促進。平和について考える心を育む。
- 7 出演：お笑い芸人「アップダウン」（竹森巧、阿部浩貴）
- 8 対象者：主に区内小中学生及び保護者（参加見込225名）
- 9 参加費：大人1人3,000円/子ども500円（中学生以下）
※席不要乳幼児無料
※先着20名子ども無料
協賛に動いており、子ども先着20名無料枠確保。今後協賛次第で無料枠拡大
予定。

その他参考事項

資料を別添します。

命の記憶を、笑いと語りで未来へつなぐ

電話：[REDACTED]
メール：[REDACTED]

イベント名：「原爆体験伝承漫才 希望の鐘」開催について

【目的】

子供たちと保護者へ「笑い」と「語り」で戦争・原爆体験の事実を優しく伝えます。平和の尊さと命の記憶を自分事とし、先人への感謝と命を大切に作る心を育み、未来へつなぐ。本イベントは、文京区が長年培ってきた「平和への思い」を次世代へ効果的に伝えるための企画です。

【イベント概要】

- ・ 日程：2026年3月26日(木)
- ・ 時間：18:00開場/18:30開演
- ・ 場所：文京シビックホール小ホール
- ・ 来場者予測：150-300名

【来場者体験】

- ・「原爆体験伝承漫才 希望の鐘」観劇
- ・「ふるさと」斉唱：文京区は唱歌ふるさとが誕生した街。文京区・自分の街を大切に作る心を育む。
- ・その他：平和に関するトークショー/折り紙ブース

【集客・広報戦略】

- ・文京区教育関係登録団体として区と連携。
- ・文京アカデミーWebページへの掲載
- ・地元学校・地域マルシェ等でのイベントの告知
- ・ソーシャルメディアの活用
- ・ポスター&チラシの配布

【今後の展望】

子育て家庭向けに、保護者向けのコミュニティや地域の学校へ声がけに注力

【原爆体験伝承漫才「希望の鐘」ができた経緯】

「長崎被災協・被爆二世の会」の依頼を受け、作り上げた「原爆」をテーマにした漫才。2022年8月11日長崎市で初公演。長崎新聞掲載。NHK「ニュースウォッチ9」特集全国放送。その他、NHK WORLDで世界にも発信された。全国の行政や教育機関からも注目され各地で公演活動中。

※実績は別紙参照。



【お笑いコンビアップダウンとは】

竹森巧(写真左)と阿部浩貴(写真右)のお笑いコンビ。「エンタの神様」「爆笑！レッドカーペット」などの多くのバラエティ番組に出演。吉本興業所属時代には新宿のルミネtheよしもとなどの劇場に出演の他、ミュージカルなどの舞台にも出演。

2019年以降日本の重たい歴史を「笑い」と「歌」で伝える芝居を通じて、全国各地で絶賛講演中！



【文京区で開催する意義】

①区の理念との整合性・地域への貢献

文京区は「文京区平和宣言」「非核平和都市宣言」のもと、毎年「文の京 区民平和のつどい」事業を通じて、平和教育へ積極的に注力されています。

本イベントは、区内にある東京都戦没者霊苑などの歴史的背景を活かし、区民をはじめ多くの方へ「家族・地域ぐるみ」で平和意識を醸成する「対話の場」を提供します。これにより、区が掲げる「平和の尊さの継承」をさらに具体的かつ多層的に深化させ、東京全体の平和教育における新たな可能性を示すことができます。

②区の平和学習スタンスとの連携

文京区は、「体験・体感」による学びを重視されています。(例：非核平和都市宣言40周年記念事業では区内中学生を被爆地広島へ派遣する平和特派員事業を開催)

本イベントは、次世代の担い手である幼・小・中学生の育成を支援するとともに、その保護者も巻き込むことで、家庭で自発的な学びが生まれるきっかけを提供します。区民全体の平和意識を一段と高め、学びの好循環を地域社会で実現する活動として、区のエducational施策に貢献します。

命の記憶を、笑いと語りで未来へつなぐ

電話：[REDACTED]
メール：[REDACTED]

イベント名：「原爆体験伝承漫才」開催について

【原爆体験伝承漫才「希望の鐘」後援実績】

「原爆」「戦争」を体験者の話をもとに笑いを交えて伝える今までにない漫才。

「長崎被災協・被爆二世の会」の依頼を受け、

「長崎の鐘」「この子を残して」などの著者、永井隆さんの体験や、当時の被爆経験者の話をもとに漫才を制作。

学校の平和授業などでも披露できるよう約40分で構成。

- 2025/7月小樽市民劇場ヲタル座公演

北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

- 2025/7月大田区スマイル大森公演

大田区教育委員会(東京都内初の後援)

※すでに都内でも数多くの公演を実施。

都内地方自治体の動きとしては、下段の二人芝居音楽劇「桜の下で君と」の八王子公演への後援等、自治体として、民間が主催する平和教育へ後援の取り組みが始まった段階です。

【平和教育の質を高める 探究学習支援】

学習指導要領において、原爆に関する平和学習は、主に小学校高学年と中学校の社会科(歴史的分野)で、第二次世界大戦の終結と平和の願いの一部として集約的に扱われています。本イベントは、この教科で学ぶ知識を、家族での対話や体験を通して「生きた学び」へと進化させます。

特に、小学校5・6年生の総合的な学習の時間(総合学習)への導入として、子供たちと保護者の方が家庭で歴史を深く話し合う貴重な機会を提供します。

また、中学校(歴史的分野)や高等学校(公民科)での、日本国憲法の平和主義や国際社会の課題といった、より高度なテーマを多角的に考察する視点を育みます。

【まとめ】

本イベントは、文京区が長年の間に築かれてきた「平和教育の土壌」を活かし、家庭・学校・地域が連携する新しい形の平和教育を提案する企画です。

文京区にご後援いただくことで、区の教育的先進性を対外的に発信でき、区民の皆様の高い満足度と学びの機会を提供できると確信しております。ぜひ、区の新たな教育モデルとしてご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

【ご参考:その他演目、各地での後援実績】

アップダウン二人芝居音楽劇「カイ」

幕末から明治維新の時代背景意と開拓の笑いと音楽で楽しみながら学べるエンターテインメント劇

- 2022/01 道新ホール

北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

- 2022/11 小樽市民会館

北海道、北海道教育委員会、小樽市、小樽市教育委員会

- 2023/03 美唄市教育委員会

- 2024/10 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

アップダウン二人芝居音楽劇「桜の下で君と」

「戦争」「特攻隊」という重たいテーマや歴史を歌と笑いをを使ってわかりやすく伝えるエンターテインメント音楽劇。二人乗り戦闘機で特攻した藤井一さんの実話をもとに制作された、教官と教え子の絆を描いた物語

2021/07道新ホール 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

- 2022/08 音更町教育委員会

- 2023/10 北海道、北海道教育委員会、小樽市、小樽市教育委員会

- 2023/11 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

- 2025/10/4 八王子市・八王子市教育委員会

- 2025/10/31 千葉市・千葉市教育委員会

- 2025/11/30 扶桑町/扶桑町教育委員会/大口町教育委員会/江南市教育委員会(愛知県)

命の記憶を、笑いと語りで未来へつなぐ

電話：[REDACTED]
メール：[REDACTED]

イベント名：「原爆体験伝承漫才」開催について 参考資料



中国新聞
2025/6/15

【原爆体験伝承漫才「希望の鐘」ダイジェスト動画】

<https://www.youtube.com/watch?v=hbf6FcDMRDE>

【ご参考:マスコミ等】

[シリーズ戦跡]長崎被爆76年 新たな目線で語り継ぐ挑戦 お笑いコンビが挑む(2021年度)

https://www2.nhk.or.jp/archives/movies/?id=D0001200402_00000

笑いを通して伝える平和の大切さ「原爆体験伝承漫才」お笑いコンビ アップダウン 高校生が鑑賞(2023年11月17日(金))

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/nbc/843897?display=1>

【継承】お笑いコンビ・アップダウンが漫才で伝える原爆 “原爆体験伝承漫才”を広島で初披露(広島女学院中学)

<https://www.youtube.com/watch?v=qRMc3bXRYmq>

テレメンタリー(テレビ朝日系列)

【戦争×お笑い】「それって笑える？」葛藤しながらも“知ってほしい” 完成した「北方領土漫才」元島民の反応は…

<https://www.youtube.com/watch?v=8n8WsZKwFHw&t=123s>

※10月31日千葉後援「桜の下で君と」はNHK様取材予定
※11月より、大田区立中学校では、平和学習の一環としてアップダウンさんの公演を取り入れることを決定。

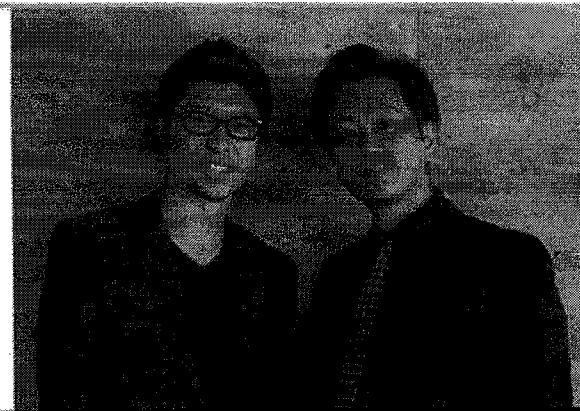
原爆体験伝承漫才

希望の鐘



公演概要

お笑い芸人アップダウンによる
約40分の漫才

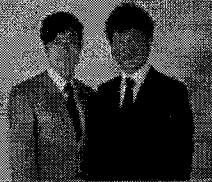


「原爆」「戦争」を体験者の話をもとに
笑いを交えて伝える今までにない漫才



「長崎の鐘」「この子を残して」などの著者、永井隆さんの
体験や、当時の被爆経験者の話をもとに漫才を制作。
学校の平和授業などでも披露できる40分で構成。

吉本興業社会派漫才師



竹内(43)・木内(44)

北海道出身

1998年3月、結婚し吉本興行・東京所
属1生に東京を中心とした劇場で二
人漫才の活動。

2018年、北海道のアイヌ民族、2019年
鹿児島県指宿の特産品を題材にした漫
才を配信して公衆に大反響。

今回、新テーマ「原爆」に挑戦中。

水をください
焼けただれたロザリオ
真夏の青空の下で
鳴り続けるアンジュラスの鐘
クズノキの記憶
ずっとずっと、伝えて欲しい
時の流れの中で
今日の話

今伝えたいこと 君に アップダウン 原爆劇

日時 8月11日(水)

開演18時30分 終演21時30分

場所 長崎被爆協地下講堂

観覧料 一般(大人) 1,000円

高校生500円 中学生以下無料

長崎被爆協・被爆二世の会
〒852-8115長崎市田町8-20
電話095-844-0958
担当 山崎 090-7581-9794

「長崎被災協・被爆二世の会」の依頼を受け
作り上げた「原爆」をテーマにした漫才「原爆体験伝承漫才」
2022年8月11日、長崎市で初公演。
長崎新聞掲載。NHK「ニュースウォッチ9」特集全国放送。
NHK WORLDで世界にも発信された。
全国の行政や教育機関からも注目され各地で公演活動中。



公演実績

2021年8月	<初演> 長崎原爆被災者協議会地下講堂	2025年1月	東京都/弘法寺 空海ホール
2021年8月	福岡県/福岡市立中央市民センター	2025年1月	東京都/秋葉原UDXシアター ※企業向け公演
2021年11月	札幌市/(一般企業依頼)	2025年5月	札幌市/大通公園 JCフェスティバル
2022年8月	東京都/下北沢北澤八幡神社	2025年6月	広島県/広島女学院 (平和授業)
2022年9月	北広島市/西の里ファミリー体育館	2025年6月	千歳市/北ガス文化ホール
2022年10月	美唄市/安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄	2025年6月	長崎県/とぎつカナリーホール
2022年11月	長崎県/とぎつカナリーホール	2025年7月	東京都/スマイル大森
2023年7月	白老町/しらおい創造空間 蔵	2025年7月	小樽市/市民劇場ヲタル座
2023年8月	長崎県/西彼長与町民文化ホール	2025年8月	長崎県被爆二世の会/チトセピアホール
2023年11月	長崎県/長崎総合科学大学附属高校平和授業	2025年8月	札幌市/恵弘寺
2023年11月	札幌市/生活支援型文化施設コンカリーニョ	2025年8月	北広島市/芸術文化ホール (花ホール) 平和の灯
2024年2月	東京都/八王子市市民活動支援センター	2025年9月	北広島市/芸術文化ホール (花ホール) 小学校芸術鑑賞会
2024年3月	札幌市/(一般企業依頼)	2025年9月	北広島市/芸術文化ホール (花ホール) 小学校芸術鑑賞会
2024年7月	幕別町/幕別百年記念ホール	2025年10月	帯広市/西帯広コミュニティセンター
2024年10月	恵庭市/恵庭市民会館中ホール (任意団体依頼)	2025年10月	長崎県/長崎市市民生活プラザホール
2024年11月	幕別町/幕別百年記念ホール (高校芸術鑑賞会)	2025年11月	滝川市/滝川市民交流プラザメインホール
2024年11月	札幌市/ ホテル札幌ガーデンパレス (千島連盟)		
2024年11月	札幌市/(一般企業依頼)		

事業予算書

事業名 原爆体験伝承漫才「希望の鐘」

団体名 語り継ぐ人たち（社会教育関係団体）

収 入			単位：円	支 出		単位：円
事業収入				出演料		275000
内訳 チケット	3000	175	525,000	会場費		49500
チケット	500	30	15,000	付帯設備利用料		34300
協賛金		20	10000	交通費		160000
合計人数		225		消耗品費用		12200
				広告宣伝費		19000
計			550,000	計		550,000

令和7年11月14日

（備 考）

2025年9月26日制定

(名称・事務所・連絡先)

- 第1条 会の名称を「語り継ぐ人たち」と称す。
本会の事務所は、東京都文京区白山1-36-2に置く。

(目的)

- 第2条 本会は、主に文京区内を会場とし、子どもたちを中心に、命の大切さを伝承していくために活動する。

(活動内容)

- 第3条 講演活動
ワークショップ開催
地域の歴史・伝承を学ぶフィールドワーク
言葉・歌・触れ合いを通じた心の教育
詩・歌・物語を用いた感性教育プログラム
多世代交流の「語りの集い」
教材・冊子・詩集などの制作と配布
平和・共生をテーマにした展示・朗読会
オンラインでの語り継ぎの配信
共感的な関わり方を学ぶための講座

(会員の資格)

- 第4条 1. 団体の理念に共感し、活動に参加したい方
「語り継ぐ」ことに心を寄せる人
2. 教育・福祉・文化活動に関心のある方
専門職でなくても、志があれば歓迎
3. 地域の伝承や風習を学び、伝えたい方
土地の記憶を守りたいという思いを持つ人
4. 子育て中の保護者や教育者
家庭や学校で語り継ぎを実践したい方
5. 創作活動(詩・歌・物語など)に関心のある方
感性を育て、言葉でつながることを望む人
6. 団体の活動を支援・協力したい方
運営・広報・資金面などで関わりたい方
7. 多世代の交流に興味がある方
年齢を問わず、語り合うことを楽しめる人
8. 平和・共生・祈りの教育に関心のある方
思想や宗教を問わず、心の教育に共鳴する人
9. 団体の活動に継続的に参加できる方
年に数回でも、関わり続ける意志のある人
10. 語り手として活動したい方
団体の活動を担う意志のある方

会 員 名 簿

団体名 語り継ぐ人たち

	役職	氏名	住所（在勤・在学者は下段に名称と所在地を記入）	電話番号	年齢
1	会長	安達千晶	文京区白山1-36-2-414		☒ 18歳以上 ☐ 18歳未満
2	副会長	中洞 麻衣子			☒ 18歳以上 ☐ 18歳未満
3	会計	鈴木健夫			☒ 18歳以上 ☐ 18歳未満
4	会計監査	安達 毅			☒ 18歳以上 ☐ 18歳未満
5		田所恵津子			
6		田所信浩			
7		中洞 新司			
8		鈴木知子			
9		塩見容子			
10		作見 恭子			
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※用紙が足りない場合はコピーをしてください。

【注意】

- ・実際に活動している全ての会員についてご記入ください。
- ・活動していない人の名前を記載すること、区外会員の記載を省略すること等の不正が認められた場合、登録を取り消すことがあります。
- ・在勤、在学者については住所欄の下段に勤務先や学校の名称と所在地をご記入ください。
- ・必要事項が全て記載されていれば、既存の名簿をご提出していただいても結構です。

春休みに!
子どもたちの心へ
「命の重み」と「平和の尊さ」を
深くきざむ刻!

子ども20名無料枠あり!

紹介動画は
こちらから



原爆体験伝承漫才とは?
当時の人たちが見た景色、感じた温もり、極限状況の中にもあった「笑い」。その光景が浮かび上がる…。前半はユーモアを交えて掛け合う「漫才」で、後半は一転して、ある少年の原爆体験を静かに「語り」で届けます。
大切な方と一緒に、もちろんお一人でも。「命の記憶」、分かち合いませんか?

戦後80年から平和80年へ!
お笑いであつなぐ、命のバトン
当時を知る「語り部」が少なくなった今、「笑い」を通じて原爆を伝えたいという一見、矛盾するようなテーマに挑むアップダウンの公演は多くのメディアで話題となり、小中学校の平和学習にも活用されています。未来へ希望をつなぐ新しい語り継ぎ。会場でお待ちしています!

チケット情報

大人 3,000円

子供 500円 (小・中学生)

※座席のいない未就学のお子様は無料!

お問い合わせ

kataritsuguhitotachi@gmail.com

担当:安達・中洞(なかぼら)

原爆体験伝承漫才 希望の鐘

2026

3.26

木

18:00開場

18:30開演

「笑い」と「語り」で
未来へつなぐ、
命の記憶。



お笑いコンビ アップダウン

竹森 巧

阿部浩貴

竹森はミュージシャンとしても活動。阿部は「細かすぎて伝わらないモノマネ選手権」で優勝。日本の重たい歴史を「笑い」と歌で伝える二人芝居を全国各地で絶賛講演中!

会場

文京シビックホール 小ホール(2階南側)

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

文京シビックセンター 2階

東京メトロ丸の内線・南北線 後楽園駅直結
都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅直結

2025/11/14

確認書

文京区教育委員会 殿

住所（所在地） 東京都文京区白山1-3-2-414

申請者（申請団体） 語り継ぐ人たち

代表者名 安達千晶



文京区教育委員会 共催・後援名義を申請するに当たり、文京区教育委員会
後援名義等使用承認要綱を遵守し、以下の行為は行いません。

- 1 営利を目的とした行為
(物品の販売、会員の勧誘、営利目的事業の宣伝・チラシ配付等の行為)
- 2 政治的又は宗教的な行為
- 3 その他委員会の教育方針等に反する行為

仮に違反した場合、後援名義等使用承認要綱に基づき、後援名義使用の承認を
取消されることを了解しています。